

授業概要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者	当該科目に関する実務経験
子どもの生活と人間関係		柳田 真理子	保育士

授業の回数	時間数 (単位数)	配当学年・時期	必修・選択
15回	30時間 (1単位)	2年・前期	必修

[授業の目的・ねらい]

- 保育内容「人間関係」について、その内容と具体的な指導法を理解する。子どもの目線に立った人間関係の構築とその指導法を習得する。それらを通して、保育現場における洞察力・課題発見能力、更には自己の人間関係形成力を高めることを目指す。

[授業全体の内容の概要]

- 園生活における様々な乳幼児の人間関係に関する知識を学び、保育内容「人間関係」のねらい・内容について理解する。併せて、具体的な保育実践事例を通して、保育者の実践的な援助の在り方について理解を深める。

[授業終了時の達成課題 (到達目標)]

- 保育所保育指針における「人間関係」のねらい・内容を理解する。
- 乳幼児の様々な「人間関係」の育ちや芽生えについて、発達的観点から総合的に理解する。
- 乳幼児の人間関係に関する保育事例を通して、保育者としての具体的・実践的な援助方法について考察できる力を身に付ける。

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

- 第1章 保育内容「人間関係」に求められること
- ①子どもとかかわりながら「育てる人」へと転換する
②現在の保育の枠組みから考えよう
③子どもの世界を感じよう
- ④保育者としての感覚を磨こう
⑤豊かな保育の現場を思い描こう
- 第2章 生涯にわたる「人間関係」
①生涯を通した「人間関係」の原理とその発達
②乳幼児期の「人間関係」
③人間関係の発達を支える心理劇
- 第3章 「人間関係」演習ーあなたならどうしますかー
 - 仲間入りを巡る人とのかかわり
 - 人との信頼関係
- ③けんかやいざこざから生まれるもの
- ④片づけと人間関係
- ⑤遊びと人とのつながり
- ⑥言葉がつなげる人間関係
- ⑦気になる子どもと他児とのつながり
- ⑧保護者支援と保育者の役割
- ⑨地域・関係機関との連携
- ⑩園内の人間関係と保育者の自分磨き
- まとめ
- 期末試験

[使用テキスト・参考文献]

- 保育内容 人間関係 (萌文書林)
- 最新保育講座8 保育内容「人間関係」(ミネルヴァ書房)

[成績評価の方法と基準]

教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。

- ・ 考査点(75%)
 - ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。
- ・ 平常点(25%)
 - ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。
 - ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。